

古賀市議会議員 子どもたちの夢がかなうまち

〒811-3114  
古賀市舞の里2-15-21  
TEL/FAX 092-944-3773

# 森 まき NEWS

2024年1月 vol.03



## 安心して暮らせるまちに

～森 まき・そう あきこ 新春の思いを語る～

あけましておめでとうございます。  
昨年のご支援ありがとうございました。議会では沢山質疑や質問をしました。  
今年も皆さまの声を議会へ届けます。

**森** 市議会議員になり、市民の声を市政に届けるという大事な仕事と共に女性が議会で発言することは大事だと感じました。先輩議員としてどうお考えですか。

**そう** 女性はルールを守る・不正を嫌う・公平さを大切にすることに敏感です。そうした特性をまちの事業に活かすことが大切だと思います。

**森** 私は「子どもたちの夢が かなうまち」を掲げ、議会に臨んでいます。国は「少子化対策」を宣伝していますが、どんな事が大事とお考えですか。

**そう** 少子化の最大の原因は非正規雇用で、女性は6割です。なんと言っても安定した雇用が必要だと思います！

**森** 世界では紛争や戦争が絶えず、子どもたちが生きる未来は平和が第1だと私は思いますが、如何でしょうか。

**そう** もちろんです！九州でも多額の税金を使い基地強化が進められています。暮らしや子育てにこそ税金を使って欲しいと思います。



そう あきこ  
(宗 晶子)

1971年生まれ  
衆議院選挙福岡4区予定候補  
2015年 築上町議会議員当選  
2期8年活動  
2023年 社民党福岡県連合副代表  
趣味 マラソン 手芸 英会話

**森** 古賀市で市民活動にも参加されているとお聞きしていますが。

**そう** 子ども食堂などのお手伝いをしています。もっと公的支援があったら良いと思います。

**森** 古賀市の皆様に一言お願いします。

**そう** 市民活動が活発で、安心して老後がおくれる印象があります。政治は市民の生活を守るものです。こうした自治が進むよう私に働かせてください。

『そう あきこ』さんは住民の声や思いを行政に届けてこられました。私たちの代弁者として今度は新しい場でその力を発揮して頂きたいと思います。

## 物価高騰対策など審議

物価高騰対策に関する予算補正の他、国民健康保険税条例、学校給食センター工事契約などを審議しました。



## 物価高騰に予算を補正

### 住民税非課税世帯に給付金

給付額は1世帯7万円。対象者には令和6年1月下旬より確認書等を発送、支給開始は令和6年2月下旬の予定。予期せず収入が減少し世帯全員が「住民税非課税相当」となった世帯も対象となります。

〈相談窓口：福祉課 092-942-1150〉

### 子どもたちに図書カード

子育て世帯の支援として0歳から高校生の年代の子どもに一人当たり3,000円の図書カードを配布します。事前通知を行い2月下旬に発送予定です。



### AIオンデマンドバス

事業開始から1年になるが当初見込んだ運賃収入が確保できないと予測されるため運行経費に対し不足する分を補正しました。高齢化が進む中で移動手段の確保は重要な課題です。

利用者への一層の利便性の向上と事業周知を図り広告等の提案、アプリ操作の勉強会など利用の促進・事業実績・収入の向上に努められるよう求めました。



## 条例改正

### 妊娠期間の健康保険税を免除

国民健康保険加入者で妊娠された方の産前産後機関の内、出産予定日前月から翌々月までの期間保険税を免除します。多胎妊娠の方は出産予定日3か月前月から翌々月までとなり、条例公布の令和6年1月1日以後が対象となります。



## 学校給食センター工事契約

学校給食センターの老朽した洗浄設備を10億1千万円余りの予算で3年かけ更新を行う契約を行います。給食センターの調理能力は9,000食ですが、現在は5,700食（63%）の稼働状況で、子どもの減少も見込まれることから、ダウンサイジングや自校方式などセンターのあり方、安全な食器の選定などを求め賛成しました。



## 請願

### 中学校も少人数学級に

今年も小人数学級・義務教育国庫負担の堅持と充実を求めて国と関係機関に意見書の提出を求める請願に取り組みました。2021年3月「公立義務教育諸学校の学級編成標準に関する法律の一部を改正する法律案」が国会で可決され、40年ぶりに40人から35人に引き下げられました。

しかし、同じ義務教育でありながら中学校は実施されないままで早急な実現を求めるものです。

貧困、ヤングケアラーなど深刻な問題を抱える子どもも増えており、子どもたちに目が行き届く少人数学級の推進、義務教育費国庫負担制度の堅持と教育予算の拡充は重要であると賛成の意見を述べ、請願に賛成しました。請願は賛成全員で採択され、国に意見書が提出されました。



## 森 まきの一般質問

子どもたちには安心して暮らし、遊び、学び、希望をもって成長できる社会が必要です。しかし2022年は登校が困難な小中学生が過去最多だったと文部科学省は報告しています。

こうした状況から今回も「子どもたちの夢が かなうまち」になるよう、子どもたちの学びの場の確保・環境整備について質問しました。

**森** 古賀市は「すべての子どもたちの未来を切り拓く教育の充実」を示しているが、登校が困難な児童生徒は増えている、対応は。

**教育長** スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなどの専門家や青少年支援センターなどの関係機関との相談・支援体制づくり・行き場所・居場所の確保にも努めている。

**森** 学習支援だけでなく子どもたちや保護者がコミュニケーションをとる場所が必要ではないか。

**教育課長** あすなろ教室では保護者会を組織して、スクールカウンセラー・ソーシャルワーカー等を交えた悩みを聞く場所の設置を考えている。

**森** 小・中・高校生や保護者向けの相談窓口が沢山あるが、わかりにくい。「ワンストップ」の窓口を検討していただきたい。

**福祉部長** 来年4月からそうした相談ができる窓口を設置するように、協議を進めたい。

**森** 全国では不登校で、学校内外の専門機関等で相談・指導等を受けていない小・中学生が約4万6千人に上ると報告されている。古賀市の状況はどうか。

**教育課長** 古賀市ではそうした児童は15.1%ほどである。



**森** 通いやすいようにセンターの新設も検討してはどうか。

**教育課長** 児童センターにあすなろの分室的な役割を持たせたい。出席扱いになり、勉強や色々な活動等することができる。

**森** 市長、教育長のこの課題への思いや見解を。

**教育長** 不登校について子どもたちの心の負担を無くす事が大切。また大人の意識改革も大切。学力向上調査の結果に一喜一憂せず、子ども達が楽しく足を運べる場所を作ることを目指したい。

**市長** 本市は生き抜く力、というのも重要なキーワードで掲げて子どもたちの育ちと学びを支えています。子ども家庭センターも来年度走り出していけるようにしっかり準備をしていきたい。

子どもたちの気持ちを大切に  
学びや遊びを



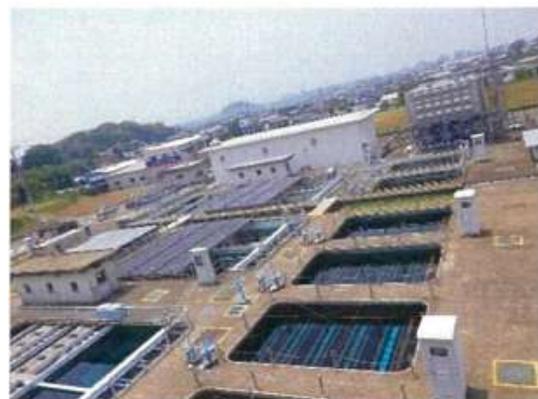
## 貴重な水源 確保は必要

今年設置された「古賀浄水場の在り方調査検討特別委員会」から調査の報告と「浄水場の廃止と水源転換を求める決議」が提出され、

- ・市民の8割が水道を利用し、意見交換会では「残すべき」という意見が多かったがどのように反映されているか。
- ・渇水対策はどのような検討がされたか。
- ・浄水場の建替えは多額の費用が掛かり、水道料金にも影響が出ると報告されているが原価償却積立などの検討をされたか。

などを質問しました。

「決議」については、今後異常気象による渇水も心配されるが、福岡大渇水において自己水源があった古賀市は福岡市ほどの制限はありませんでした。今ある水源を大事に使うことは、外部の水源を大切に使うことにもなり、廃止ではなく慎重な取り扱いを求めました。



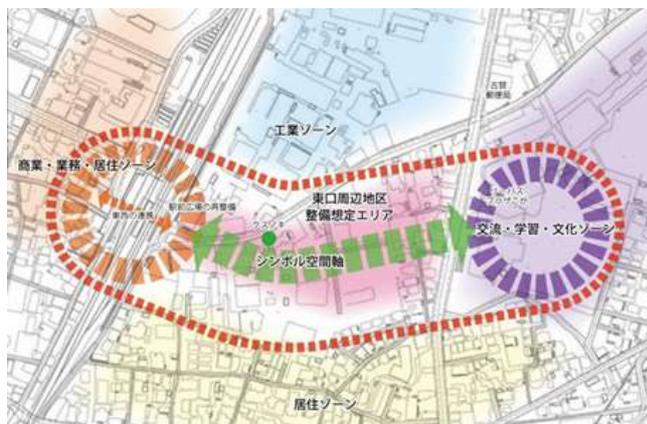
## 課題検討で計画は遅れ JR古賀駅周辺開発

「JR古賀駅周辺開発調査特別委員会」は現地調査を初め、JR古賀駅周辺開発の進捗状況、駅舎・駅前広場、駅周辺の交通施策、定住化、公園整備などの調査研究を行い中間報告を提出しました。

事業の進捗状況は駐車場の容量等の検討が必要なことから、計画より2年ほど遅れ、都市計画決定は令和6～7年度とみられること、駅舎の複合化は検討していないこと、周辺道路の渋滞緩和・解消、駐車場の民間活力の導入、公園とリーパズプラザを結ぶ横断橋は検討中で、東口周辺整備により285戸900人の居住を見込んでいることなどが明らかになりました。

また渋滞緩和の対策として、郵便局交差点から市民体育館を抜けるJR古賀駅東口周辺道路の整備方針と市民体育館の機能移転の検討案が示されました。

西口周辺についてはアンケート調査や歩行者・車両の行動調査に社会実験の交通規制を行い、今後も西口周辺の一方通行が検討されます。



## 要望書を市長へ

☆古賀市の子どもたちの環境をより良くすることを求めるため、各団体が要望書を提出しました。

子どもの居場所、文化活動、子ども食堂などに関わる団体と一緒に、市長に現状と要望を伝える機会を設けました。

☆福岡県退職者連合より介護保険制度の充実等に関する要望書

高齢者団体より調査・要望書の提出に窓口になり、同席しました。

みなさまの声をぜひ

『歩くご意見箱 森まき』  
までお聞かせください。



森まき  
Facebook

HUGっこ

子ども食堂「たまりんば」

「たまりんば」公式アカウント

食材の提供、ご支援はこちらまで↓



職場での困りごと悩みごと  
など1人で悩まずここへ相談

まずはお電話で。

ふくほくユニオン

☎092-719-1980

(相談無料)